

事業実績報告書

様式 2
(2018年度)

講座番号	B-57	講座名	こども×おとな=未来 未来をつくるパートナーシップ ～身近なSDGsを学ぼう！～
記載日	2019/2/20	団体名	特定非営利活動法人 こどもNPO
〈講座全体の概要〉			
<p>持続可能な社会づくりは、地域を構成する一人ひとりがその課題を自分事として捉えることが大切です。第1・2回は子ども・若者が地域の一員として社会参画する事例や主体性を重視した教育事例などをトピックスとして各講師を迎え講演と参加型ワークショップを実施しました。第3回は中高生の登壇により現状を生々の声で会場に届け、参加者との多世代交流から学びあいました。第4回は、名古屋市立大学で実施されたサステナビリティ・リレーシンポジウムへの参画、そこからつなげ、第5回では参加者主体のワークショップを実施しました。こうした学びあいを通じて、参加者が主体的に発信したり交流したりすることで、社会課題について当事者意識を持つことができました。</p>			
〈写真添付スペース〉			
交流ワークショップの様子		テーマ「ユースの声と現状」。高校生が登壇	
〈企画・運営者の声(感想)〉			
<p>昨今、SDGsがビジネスセクターにおいて指標として導入されてから成果指標として示されることが多くなっています。本講座では、SDGsへの行動が自分のごく身近なものであることをテーマとして、市民一人ひとりが「私にできることってなんだろう」と考えました。指標の定量評価では計り知れない地域牽引型の地域づくりについて、子ども・ユース・大人が対等に関わりあい、議論し、学びあうことによって、大人だけでなく、子どもの社会参画のきっかけづくりとなりました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉			
<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の声がダイレクトに聞け、多世代で交流できた。 ・内容が易しく、話し合いがとても有意義でよかった。 ・子どもについての制度などの話ではなく、実際の現場のお話を中心だったので、とても楽しくわかりやすかったです。 ・生きづらさについて話し合うときに、話したいこと・話したくないことに配慮がされていたことがよかった。 ・自分の話を真剣に聞いてくれた。 			